

## 4/7(金)の報道発表

報道発表資料の配付日時 令和5年4月7日(金) 10時00分

<p>発表項目</p>	<p align="center"><b>札幌医科大学の『コミュニケーションマーク』を制定</b></p> <p align="center">～ 新生札幌医科大学 UI (ユニバーシティ・アイデンティティ) 推進プロジェクト ～</p>					
<p>概要</p>	<p>北海道公立大学法人札幌医科大学（理事長・学長：山下敏彦）では、新キャンパスの落成を節目に、昭和25（1950）年に開学した本学がその先に望む100周年（2050年）を目指して、「本学の将来像、目指すべき姿」を改めて問い直し、「新生札幌医科大学」としてのブランドメッセージを表現するツールの1つとして、新たに『コミュニケーションマーク』を制定しました。令和5（2023）年4月7日から順次、使用を開始いたしますので、お知らせします。</p> <p>詳細は、添付資料をご覧ください。</p> <table border="1" data-bbox="355 734 1477 1200"> <thead> <tr> <th data-bbox="355 734 916 779">コミュニケーションマーク</th> <th data-bbox="916 734 1477 779">シンボルマーク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="355 779 916 1200">  </td> <td data-bbox="916 779 1477 1200">  </td> </tr> </tbody> </table> <p>コミュニケーションマークは、従来のシンボルマークに代わるものとして制定するものではなく、「大学と附属病院で働く教員、看護職員、医療職員、事務職員、そして学生が積極的に身につけて、学内外で行うコミュニケーション活動を促進する」広報的な役割を担うマークとして位置づけ、学内外へ発信する媒体（名刺、白衣、WEBサイト、郵便物、各種グッズ等）に使用します。なお、昭和56（1981）年1月24日に制定して以来、多くの卒業生になじみ深く、親しまれているシンボルマークは、引き続き、式典や学位記など公式の機会で使用いたします。</p> <p>コミュニケーションマークを通じて、学生及び教職員の一体感を醸成し、より多くのステークホルダーと多面的な接点を持ち、新しい時代を生きる人々の健康と命を守る「ラストホープ」としての役割を果たすべく、職員一丸となって取り組んで参ります。</p> <p>【大学公式ホームページ：写真ニュース】  <a href="https://web.sapmed.ac.jp/jp/news/photo/ui2022/communicationmark.html">https://web.sapmed.ac.jp/jp/news/photo/ui2022/communicationmark.html</a></p>		コミュニケーションマーク	シンボルマーク		
コミュニケーションマーク	シンボルマーク					
						
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>貴紙面、WEB等の報道、取材等をお願い申し上げます。</p>					
<p>本件に関する問い合わせ先</p>	<p>札幌医科大学事務局経営企画課企画広報係 担当：佐々木、杉原          TEL：011-611-2111（内線21640、21610）          Eメール：kikakukouhou@sapmed.ac.jp</p>					

## 札幌医科大学『コミュニケーションマーク』の制定について

札幌医科大学では、新キャンパスの落成を節目に、昭和 25(1950)年に開学した本学がその先に望む 100 周年(2050 年)を目指して、「本学の将来像、目指すべき姿」を改めて問い直し、「新生札幌医科大学」としてのブランドメッセージを表現するツールの 1 つとして、新たに『コミュニケーションマーク』を制定しました。令和5(2023)年4月7日から順次、使用を開始いたします。

コミュニケーションマークは、従来のシンボルマークに代わるものとして制定するものではなく、「大学と附属病院で働く教員、看護職員、医療職員、事務職員、そして学生が積極的に身につけて、学内外で行うコミュニケーション活動を促進する」広報的な役割を担うマークとして位置づけ、学内外へ発信する媒体(名刺、白衣、WEB サイト、郵便物、各種グッズ等)に使用します。なお、昭和 56(1981)年1月 24 日に制定して以来、多くの卒業生になじみ深く、親しまれているシンボルマークは、引き続き、式典や学位記など公式の機会で使用いたします。

コミュニケーションマークを通じて、学生及び教職員の一体感を醸成し、より多くのステークホルダーと多面的な接点を持ち、新しい時代を生きる人々の健康と命を守る「ラストホープ」としての役割を果たすべく、職員一丸となって取り組んで参ります。

### 1. コミュニケーションマーク（デザイン）の説明

#### (1) コンセプト：「世界に羽ばたく札幌医のつばさ」

北海道に生き、地域に貢献し、世界へ羽ばたく札幌医科大学。札幌医科大学(Sapporo Medical University)の頭文字「S」を、世界、未来に向けて飛躍する「翼」や「プロペラの羽」に見立てたマークとしている。

広大な北海道でのドクターヘリやジェット機による急性期医療への貢献は、本学の象徴のひとつであり、羽のモチーフは、北海道の地域医療を第一線で担う本学の使命を表している。

羽の残像を感じさせるデザインは「躍動感」、異なる2色の羽の組み合わせは「伝統と未来」「地域とグローバル」「都市と自然」など、一見相反する価値を併せ持つ本校の独自性を表現している。

また、世代を超えた卒業生とのつながりや、社会の課題解決に向け様々な境界を越えて挑戦し、新しい価値の創出を目指す「ボーダーレス」な札幌医科大学の姿勢と意思を込めている。

#### (2) マークカラー

羽のマークは、北海道の大空(スカイブルー)と豊かな自然(グリーン)を調和させた「SMU ブルー」と、北海道の大地(レッド)とシンボルマークカラーのえんじ色を基調とした「SMU レッド」の2つのメインカラーで構成している。

「SMU ブルー」は、「医療人としての使命感」「若々しさや新しさ」「北海道で育まれた豊かな人間性・人柄」、「SMU レッド」は、「生命力」「人と人との絆」「札幌医科大学の伝統」を表現している。



札幌医科大学  
SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY



SMUブルー



SMUレッド

### 2. コミュニケーションマーク制作の経緯

コミュニケーションマークは、学外の専門家の協力のもと、役職員等(広報委員会の委員)へのヒアリング、令和4年度に新たに結成された「大学広報プロジェクトタスクフォース(教員と事務職員で構成)」と「大学広報 Student Ambassador(医学部と保健医療学部の学生で構成)」が参画するワークショップ等を通じ、「新生札幌医科大学」として目指す方向性や価値観を確認するとともにビジュアル化を進めました。令和5年1月 11 日から 23 日までの期間で、大学と附属病院に所属する全ての職員・学生を対象に4つのデザイン候補に対する学内投票を実施し、最も投票数の多かったデザインをコミュニケーションマークとし、令和5年3月 30 日開催の広報委員会において最終決定しました。

# 札幌医科大学 コミュニケーションマーク



マーク

札幌医科大学  
SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY

ロゴタイプ  
(和文・英文)

## 札幌医科大学コミュニケーションマーク(デザイン)の説明

### 1. コンセプト:「世界に羽ばたく札幌医のつばさ」

北海道に生き、地域に貢献し、世界へ羽ばたく札幌医科大学。

札幌医科大学(Sapporo Medical University)の頭文字「S」を、世界、未来に向けて飛躍する「翼」や「プロペラの羽」に見立てたマークとしている。

広大な北海道でのドクターヘリやジェット機による急性期医療への貢献は、本学の象徴のひとつであり、羽のモチーフは、北海道の地域医療を第一線で担う本学の使命を表している。

羽の残像を感じさせるデザインは「躍動感」、異なる2色の羽の組み合わせは「伝統と未来」「地域とグローバル」「都市と自然」など、一見相反する価値を併せ持つ本校の独自性を表現している。

また、世代を超えた卒業生とのつながりや、社会の課題解決に向け様々な境界を越えて挑戦し、新しい価値の創出を目指す「ボーダーレス」な札幌医科大学の姿勢と意思を込めている。

### 2. マークカラー

羽のマークは、北海道の大空(スカイブルー)と豊かな自然(グリーン)を調和させた「SMU ブルー」と、北海道の大地(レッド)とシンボルマークカラーのえんじ色を基調とした「SMU レッド」の2つのメインカラーで構成している。

「SMU ブルー」は、「医療人としての使命感」「若々しさや新しさ」「北海道で育まれた豊かな人間性・人柄」、「SMU レッド」は、「生命力」「人と人との絆」「札幌医科大学の伝統」を表現している。

※商標登録出願中(商標登録出願2023-31177)

コミュニケーションマークカラー

SMU ブルー①

DIC:136



CMYK:C80 M0 Y35 K0  
RGB:R0 G180 B215  
HTML:#00b4d7

SMU ブルー②

DIC:42



CMYK:C50 M0 Y20 K0  
RGB:R95 G215 B235  
HTML:#5fdaeb

SMU ブルー③

DIC:2157



CMYK:C30 M0 Y10 K0  
RGB:R190 G255 B255  
HTML:#be

ロゴタイプカラー

DIC:544



CMYK:C0 M0 Y0 K70  
RGB:R255 G130 B0  
HTML:#FF8200

SMU レッド①

DIC:2488



CMYK:C30 M100 Y100 K0  
RGB:R185 G0 B0  
HTML:#b90000

SMU レッド②

DIC:294



CMYK:C0 M60 Y40 K0  
RGB:R0 G180 B215  
HTML:#dc645f

SMU レッド③

DIC:2011



CMYK:C0 M30 Y20 K0  
RGB:R255 G200 B190  
HTML:#c8be

# 札幌医科大学 シンボルマーク



北海道公立大学法人  
**札幌医科大学**  
 Sapporo Medical University

マーク

ロゴタイプ  
 (和文・英文)

※商標登録第 5824450 号

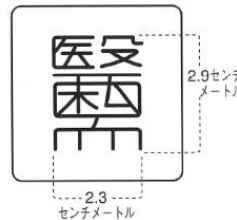
シンボルマークカラー



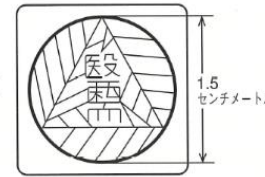
えんじ色  
 CMYK:C50%,M100%,Y100%,K0%  
 RGB:R148,G37,B42)

## 札幌医科大学シンボルマーク(デザイン)の説明

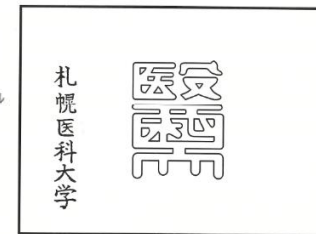
- (1) だ円(枠組み)  
 宇宙の調和を示す。
- (2) “1945”  
 本学の創基として、北海道立女子医学専門学校が開校した昭和 20 年(1945 年)を意味する。
- (3) 七光星  
 道章及び道旗の原形であり、北海道を象徴する。
- (4) 羽  
 本学の一層の発展と活躍を示す。
- (5) 柏の葉  
 柏の葉は、英知と質実を示すものとして本学の学生バッチの図案の背景に採用されている。また、柏の樹は、北海道の厳しい風雪に耐え原始林のなかに数多く見られ、冬は落葉せず、春になって落葉と同時に新芽を出す生命力を有し、材質は堅く鉄道の枕木、坑道の支柱等として道開発に貢献し、その実は“どんぐり”として動物の糧となるなど本学を象徴する樹である。
- (6) ヘビと杖  
 医学のシンボルであるアスクレピオスの杖を示している。アスクレピオスは、ギリシアの医神で、その杖には 1 匹のヘビがからみつき、医学のシンボルとして健康から不老・不死までを象徴する。また、ヘビの形は札幌医科大学の頭文字 S を示し、杖の下の方が太くなっているのは、大地にがっしりと根をはり不動のたくましさの意味している。



札幌医科大学帽章



札幌医科大学バッチ



札幌医科大学大学旗



※シンボルマークの制定(昭和56年1月24日)、帽章の制定(昭和33年3月19日)、学生バッチの制定(昭和34年2月2日)、大学旗の制定(昭和 43年6月20日)